

「GFP輸出促進セミナー」におけるアンケート結果について

令和元年9月

東海農政局経営・事業支援部地域連携課

1. 目的

本アンケートは、農林水産物・食品等の輸出実績がある事業者の輸出動向、輸出における課題と、輸出実績の無い事業者の輸出への関心事項を把握すること。また、輸出に関する行政への要望、セミナーに関する意見・感想を取りまとめることで、今後の輸出促進業務の参考としていくことを目的に実施しました。

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

2. 回収状況

今回のセミナーの参加者（東海農政局内参加者、講師除く）は74名で、うち56名から回答が得られた（アンケート回収率は76%）（表1）。

表1 アンケート回収状況

参加者（一部関係者除く）	74名
アンケート回答者数	56名
アンケート回収率	76%

3. 結果概要

(1) 職種 [回答者数：56名]

回答者の職種について、「事業会社」が16件と最も多く、次いで「商社・物流会社」が14件、「行政機関（支援機関含む）」が13件であった（図1）。

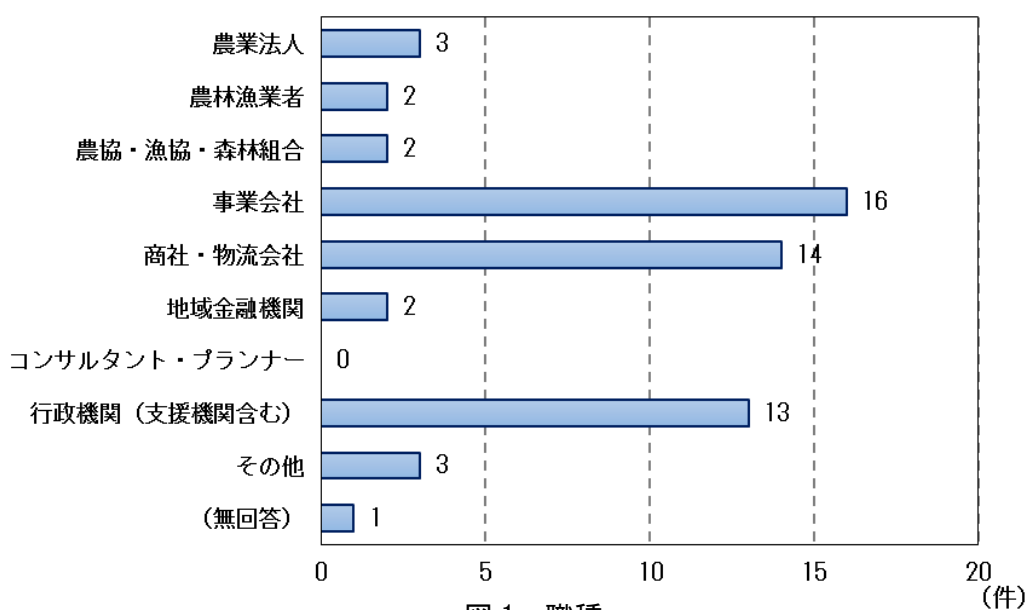


図1 職種

(2) G F Pへの登録状況 [回答者数：56名]

G F Pへの登録状況は、「登録している」と回答した者の割合は46% (26件)、「登録していない」と回答した者の割合は54% (30件)と、「登録していない」と回答した者が多い結果であった(図2-1)。

職種別にみると、「事業会社」と「商社・物流会社」での登録者数が多い結果であった(図2-2)。

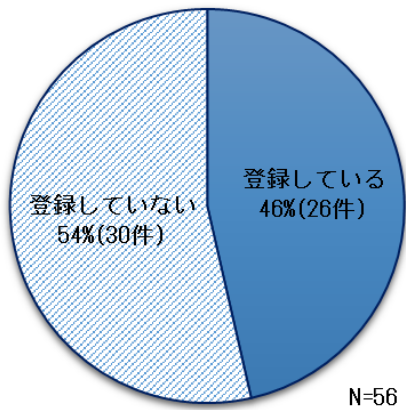


図2-1 G F Pへの登録状況(全体)

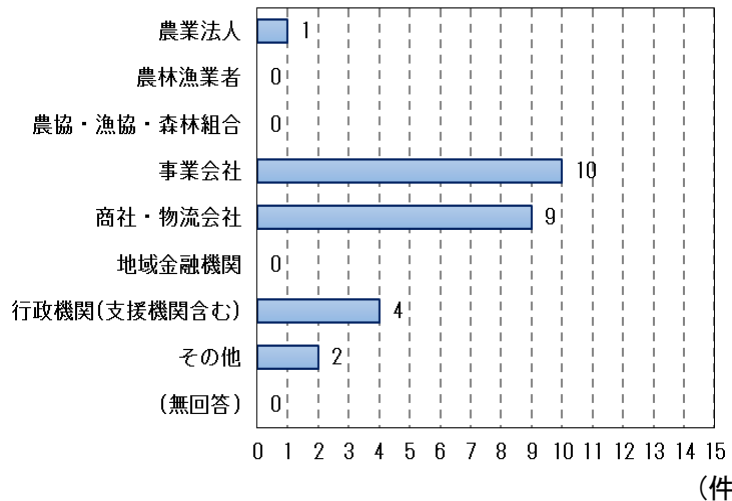


図2-2 G F Pへの登録状況(職種別)

(3) 農林水産物・食品等の輸出実績 [回答者数：56名]

農林水産物・食品等の輸出実績について、「輸出したことがある」と回答した者の割合が61% (34件)、「輸出したことがない」と回答した者の割合が37% (21件)であった。なお、回答がなかった者の割合は2% (1件)であった(図3-1)。

職種別にみると、「事業会社」と「商社・物流会社」で「輸出したことがある」と回答した者が多い結果であった(図3-2)。

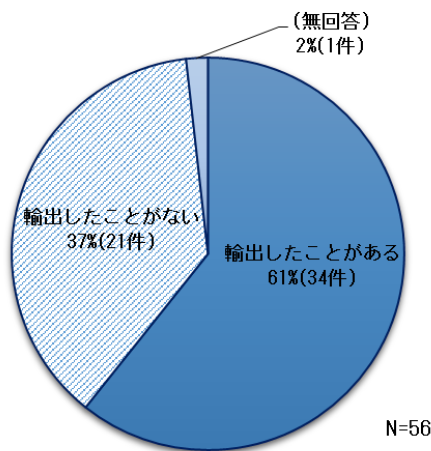


図3-1 輸出実績(全体)

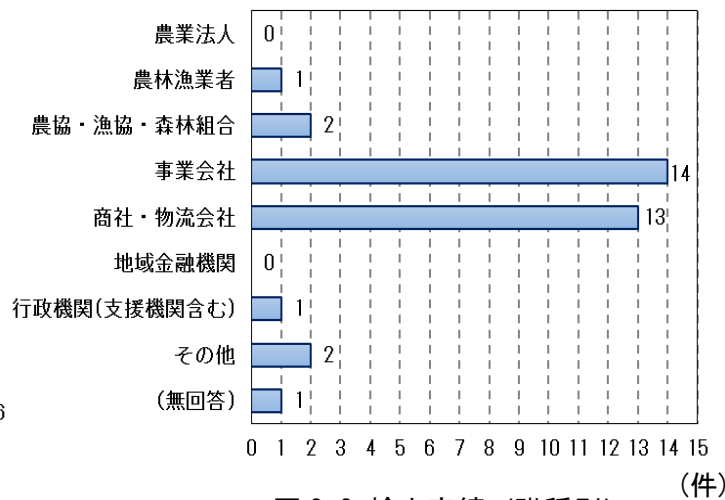


図3-2 輸出実績(職種別)

(4) 輸出実績があると回答した者の状況について [回答者数：34名]

① 輸出先国

輸出先として、「アジア」と回答した者が33件と最も多く、次いで「北米」が14件、「欧州」が11件という結果であった。(図4-1-1)。

また、国・地域別にみると、「香港」と回答した者が21件と最も多く、次いで「台湾」が14件、「シンガポール」が13件の順であった(図4-1-2)。

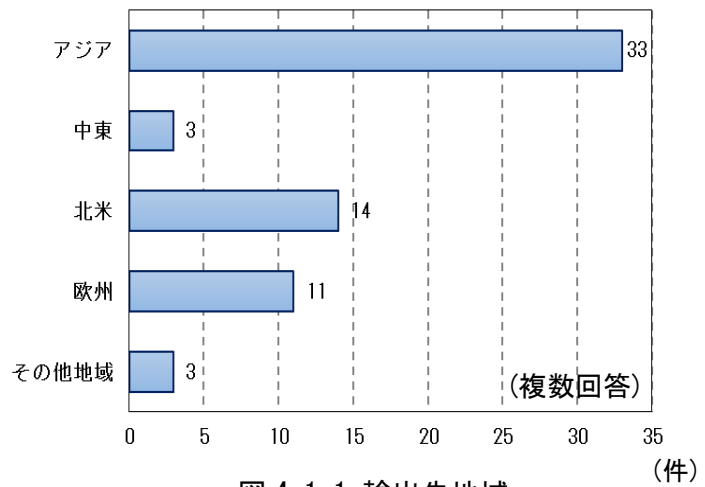


図4-1-1 輸出先地域

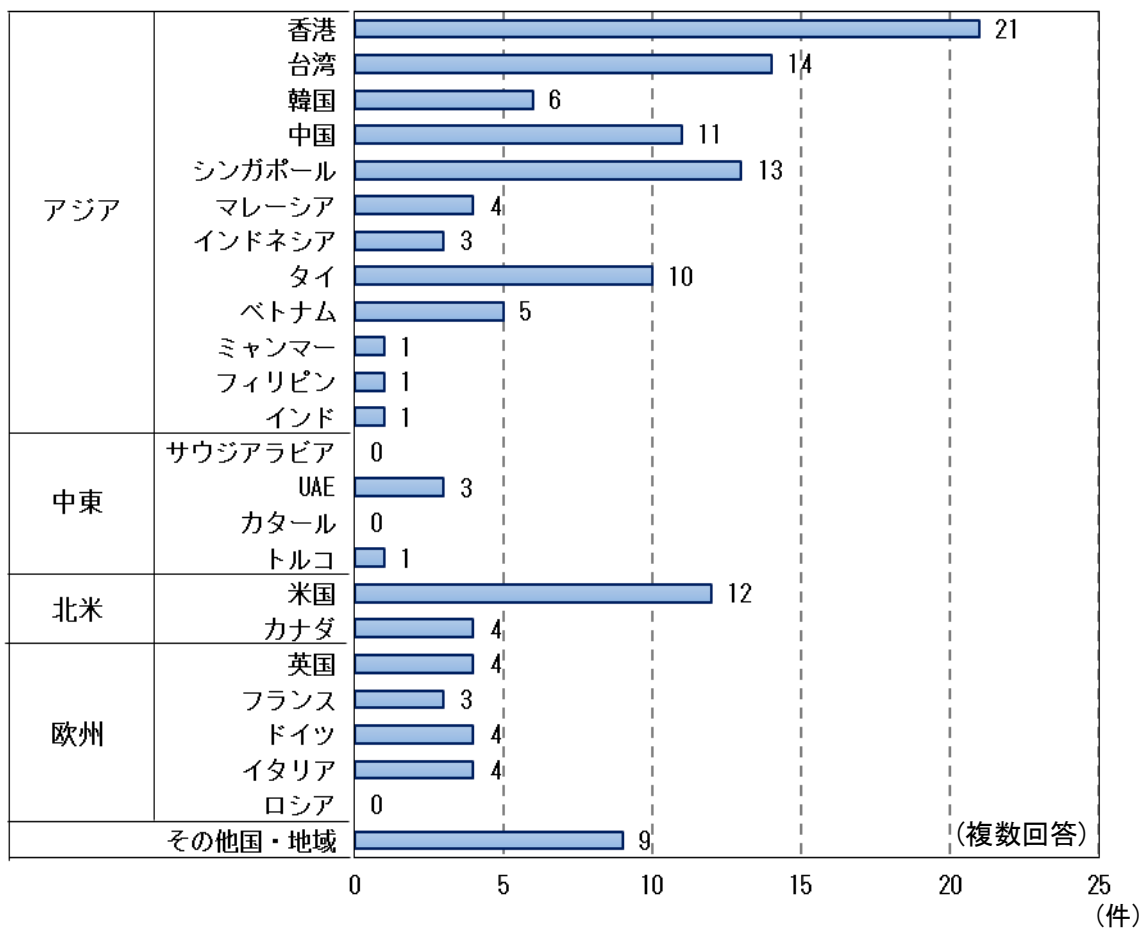


図4-1-2 輸出先(国・地域別)

② 輸出品目

輸出品目では、「水産物（加工品を含む）」と回答した者が13件と最も多く、次いで「日本酒」が10件、「果実（加工品を含む）」が8件であった（図4-2）。

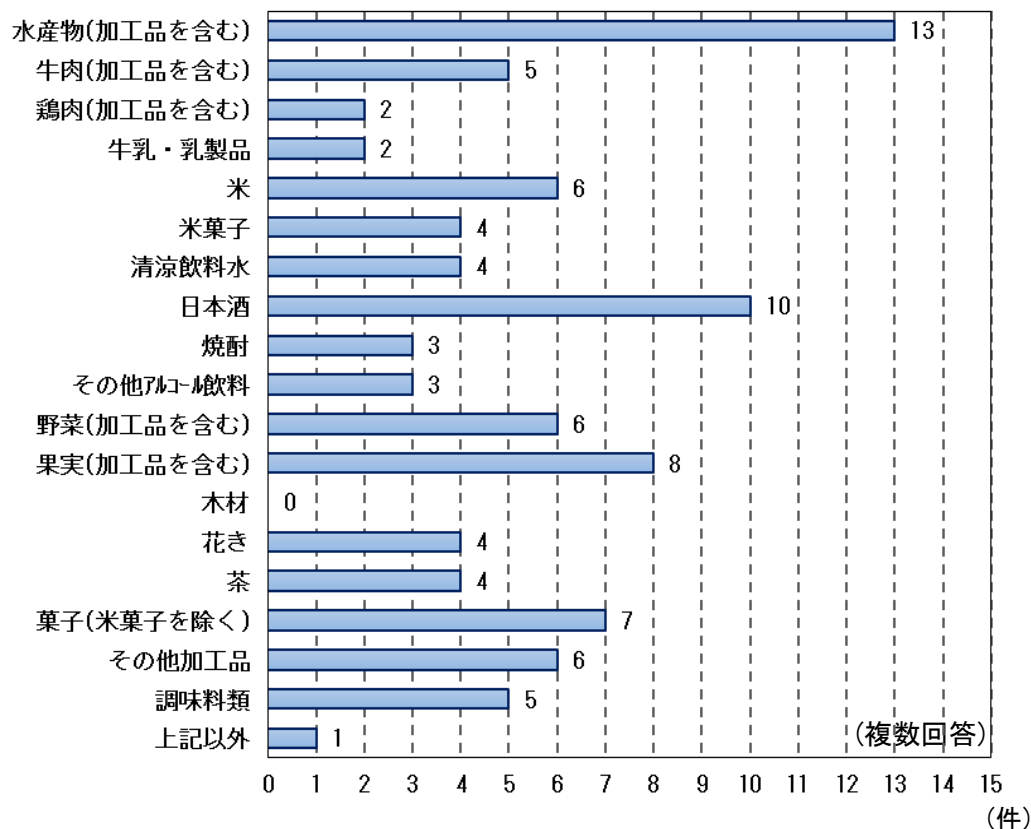


図4-2 輸出品目

③ 輸出の形態

輸出の形態は、「直接輸出」と回答した者の割合が18%（6件）、「間接輸出」と回答した者の割合が47%（16件）、「両方」と回答した者の割合が23%（8件）という結果であった。なお、回答がなかった者の割合は12%（4件）であった（図4-3）。

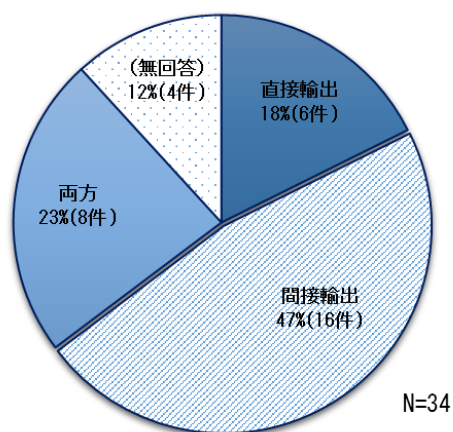


図4-3 輸出の形態

(5) 輸出における課題・問題点 [回答者数：輸出実績があると回答した34名]

輸出における課題・問題点として、「輸出手続の煩雑性」と回答した者が12件と最も多く、次いで「ラベル等商品表示」と「品質・量・価格の条件」がともに11件、「動物・植物検疫制度」と「栄養成分表示義務」がともに8件であった(図5)。

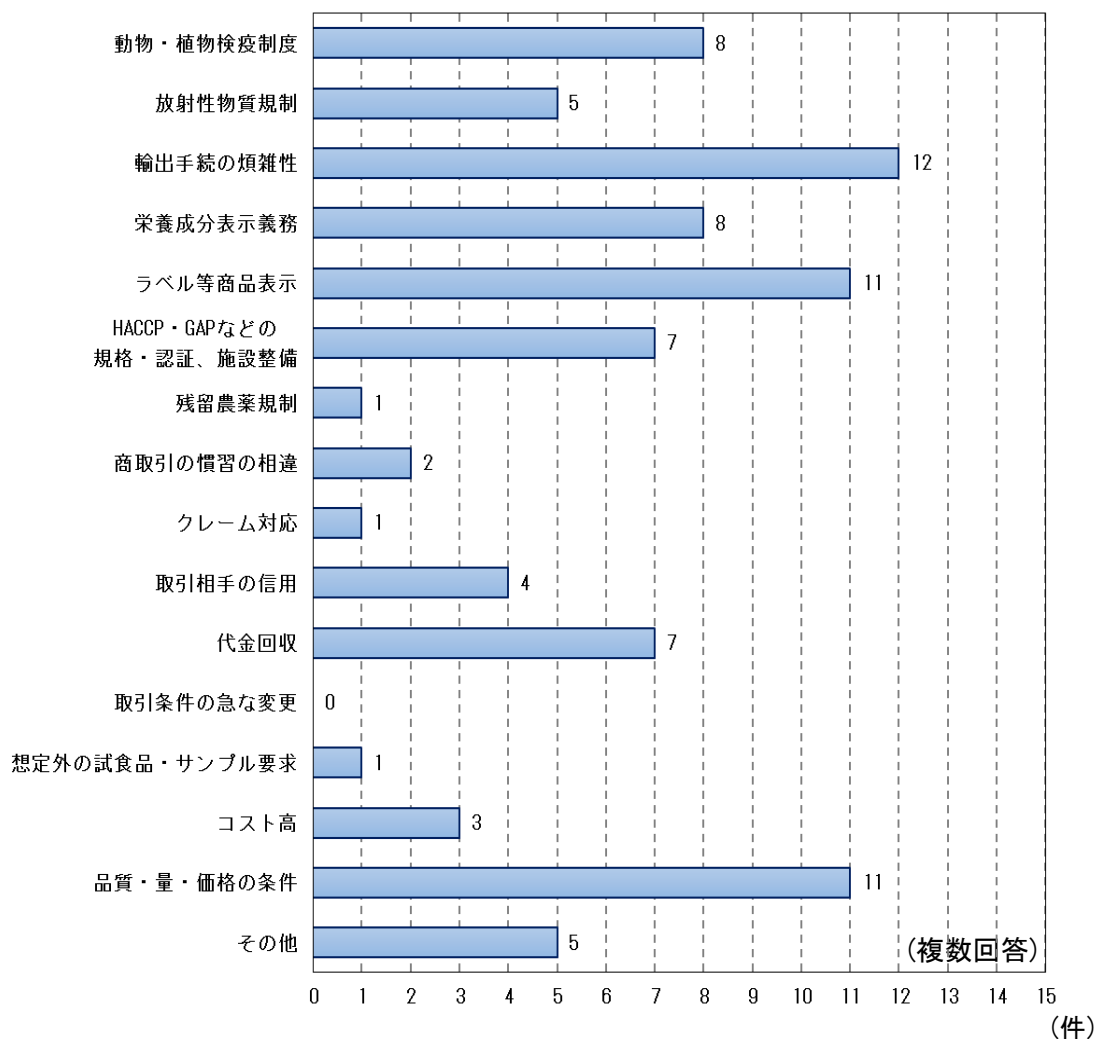


図5 輸出における課題・問題点

また、「その他」の意見として以下のことが挙げられた。

- ・ 輸出先の顧客用の味や量のカスタマイズ
- ・ 日本食としての付加価値
- ・ 輸送金手数料
- ・ 鮮度保持技術
- ・ 販路拡大

(6) 今後の輸出拡大の意向 [回答者数：輸出実績があると回答した 34 名]

今後の輸出拡大の意向が「ある」と回答した者の割合は 82% (28 件)、「検討中」と回答した者の割合は 9% (3 件)、「ない」と回答した者の割合は 6% (2 件) という結果であった。なお、回答がなかった者の割合は 3% (1 件) であった (図 6)。

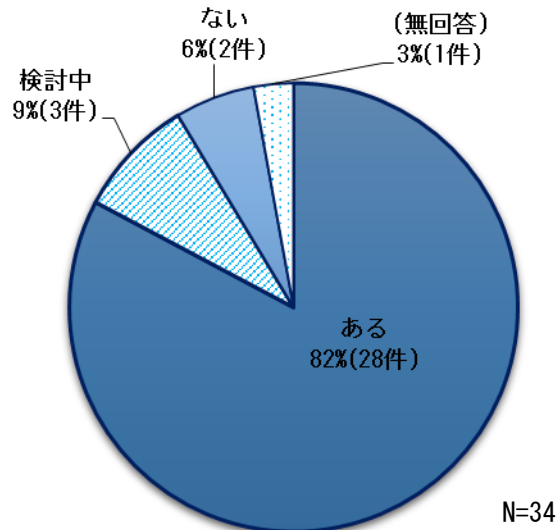


図 6 今後の輸出拡大意向

(7) 輸出についての興味・関心 [回答者数：輸出実績がないと回答した 21 名]

輸出についての興味、関心が「ある」と回答した者の割合は 71% (15 件)、「ない」と回答した者の割合は 10% (2 件)、「分からない」と回答した者の割合は 10% (2 件) という結果であった。なお、回答がなかった者の割合は 10% (2 件) であった (図 7)。

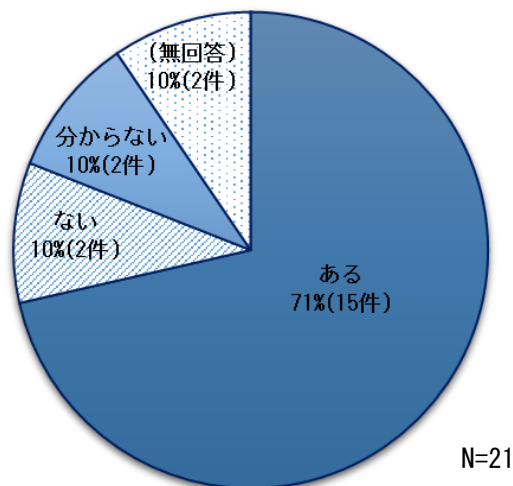


図 7 輸出への興味・関心

(8) 輸出における行政への要望 [回答者数：56名]

輸出における行政への要望として、「輸出関連の情報提供」と回答した者が23件と最も多く、次いで「海外バイヤーの招へい・商談」が20件、「各種手続に関する相談窓口」と「輸出相手(商社等)の発掘」がともに17件の順であった(図8)。

また、「その他」の意見として、「輸出を行っている企業に関する情報提供」、「証明書発行の簡素化・スピード化」などが挙げられた。

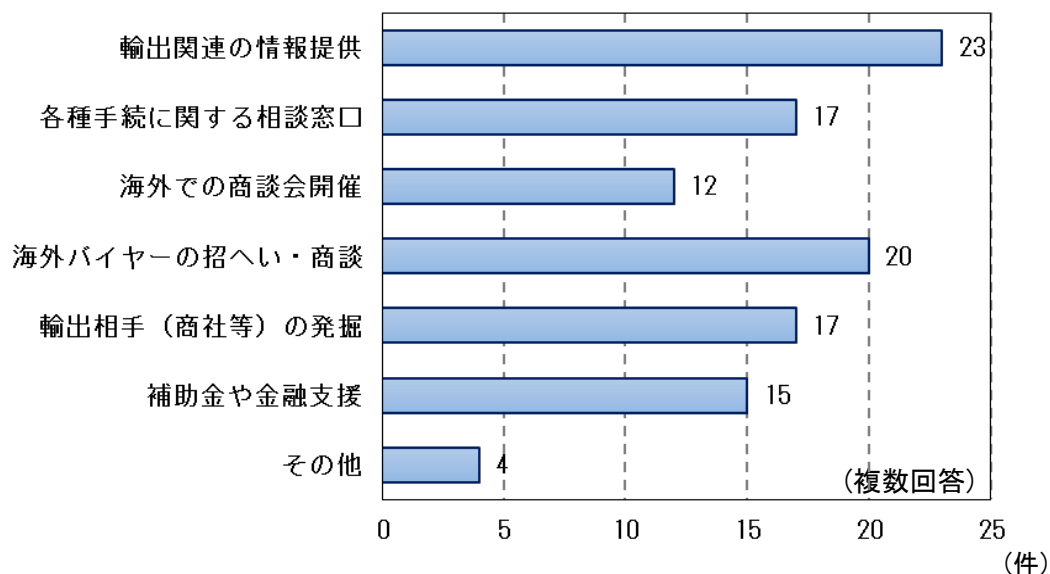


図8 輸出における行政への要望

(9) 今回のセミナーへの評価 [回答者数：56名]

今回のセミナーについて、「役に立った」と回答した者の割合は52%(29件)、「まあ役に立った」と回答した者の割合は30%(17件)、「あまり役に立たなかった」・「役に立たなかった」と回答した者の割合はともに0%(0件)であった。なお、回答がなかった者の割合は18%(10件)であった(図9)。

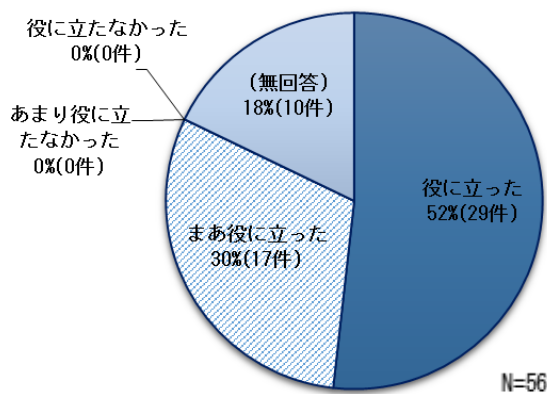


図9 今回のセミナーへの評価

(10) 今回のセミナーに関する感想・意見及び今後のセミナーへの要望

今回のセミナー及び今後のセミナーに向けた要望として、以下の多数の意見等が寄せられた。

<今回のセミナーに関する意見等（一部抜粋）>

- ・ J F O O D O、G F Pは名前だけ知っていたが、今回のセミナーでどういうものか知ることができた。G F Pに登録してみようと思った。
- ・ 第2部の各事業者の取組については、盛り沢山で時間が短すぎた気がする。
- ・ 様々な角度から多くの経験・体験が聞けてとても良かった。
- ・ 輸出に関してとてもハードルが高いことが分かった。地道に情報を集めながら輸出に向けて取り組んでいきたい。
- ・ 輸出成功のポイント、輸出が上手くいかない、進まない理由や課題について一定のヒントを得ることが出来た。
- ・ 輸出の担当者をより増やして対応していかなければいけないと感じた。
- ・ 輸出に取り組んでいる事業者様がどのようにして成約までたどり着いたのか知ることができ、参考になった。
- ・ 現在輸出が成功している企業も様々なトライアルアンドエラーを繰り返していることを知り、メンタル的にまだやれそうになった。
- ・ 自身が輸出を行っている中国、韓国以外の知識も得られて良かった。
- ・ 輸出を促進する行政、民間のサポート体制があり、それを活用できることを知ることができた。
- ・ G F Pについて農水省が力を入れて活動を行っていることが分かった。コミュニティを増やして1社でも多く輸出が増えるようにしてほしい。
- ・ J F O O D Oについては輸出実績の有無、品目、対象国と条件を絞りすぎているように感じた。該当する業種への肩入れにも感じられた。

<今後のセミナーに関する意見等>

- ・ 輸出に関する各国の特徴をとりあげてほしい。
- ・ 海外取引での色々な商品販路の例をもっと紹介してほしい。
- ・ 輸出までの具体的な流れを知りたい。また、インポーターとのやりとり、末端客へのアプローチ方法を聞きたい。
- ・ アジアへの輸出に関して詳細な情報をもらえるセミナーがあると良い。
- ・ 輸出を行っていない企業に対するセミナーを開いてほしい。
- ・ HACCP 取得に関するセミナーがあると良い。
- ・ 各自治体の協力体制の現状を説明してほしい。

以上